

大豆栽培ごよみ (狭畦密植)

黒部市農業協同組合
新川農林振興センター
黒部市農業技術会議
H31.04

名水の里 黒部 大豆栽培の要点

- ①大豆づくりは排水第一
- ②石灰質資材と堆肥等有機物の施用で土づくり
- ③種子処理剤の施用
- ④乾いた状態での適期播種
- ⑤中耕培土と除草対策の徹底
- ⑥干ばつ時の畦間かん水
- ⑦病害虫防除の徹底
- ⑧適期刈取と的確な乾燥調整



大豆300kg当りの収量構成要素

10a当株数	25,000株	1株当英数	26英
1英当粒数	1.8粒	百粒重	28g
(25,000×26×1.8×0.028=300kg超)			

大豆の生育

月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

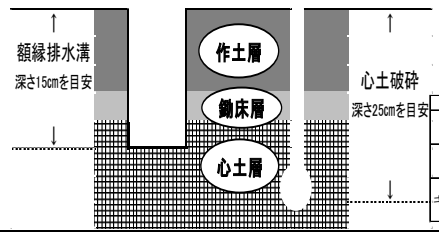
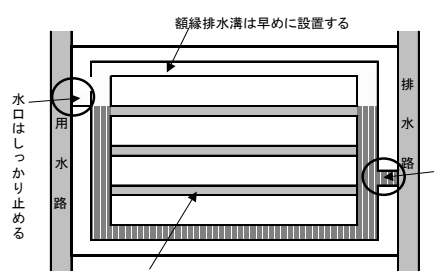
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
作業	①排水対策 排水溝と排水口の連結	②土壌改良資材等の施用 ③種子の準備 ④播種 ・耕起 ・基肥施用 ・除草剤散布	⑤除草剤散布 排水溝の手直し ポルト 大豆バケラン	⑤除草剤散布 排水溝の手直し 00ックス バク	⑦基本防除(1回目)	⑥畦間かん水 ⑦基本防除(2回目) ⑦基本防除(3回目) 子実が米粒位の大きさ	⑧収穫 JA乾燥調整施設の利用 (品質の均一化)

生長期除草剤(100%散布/10a)

対象雑草	除草剤名	必要量	備考
イネ科	ホルトフロアブル	300ml	雑草莖葉散布 イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで 1回のみ
非選択性	ロックス水和剤	200g	畦間・株間処理 雑草草丈15cm以下 収穫30日前まで 1回のみ
広葉	大豆バサグラン液剤	150ml	大豆2葉期~開花前 雑草莖葉散布 雑草生育初期 収穫45日前まで 1回のみ
イネ科	ナブ乳剤	200ml	雑草莖葉散布 イネ科雑草3~5葉期 収穫30日前まで 1回のみ
非選択性	ハスタ液剤	500ml	畦間処理(雑草生育期) 株間処理(大豆5葉期以降) 3回まで 収穫28日前まで

栽培管理のポイント

①排水対策
・春先までに額縁排水溝と基幹排水溝を設置し、排水口につないで雨水をためない
(透水性の悪いほ場では、心土破碎を行う)



②土づくり
・pH6.5を目標に、石灰質資材を耕起前に施用する
(粒状貝化石150kg、チャンピオン60kg散布でpH5.5~6.5)

	肥料名	施用量/10a
酸度矯正	粒状貝化石	150~200kg
	チャンピオン	60kg
有機物	牛ふん堆肥	2t
	豚ふん堆肥	1t
	発酵けいふん	150kg
	ヘアリーベッチなど地力増進作物の鋤きこみ 堆肥などは前秋に散布を終えましょう	

③種子の準備
・自家種子の連用は品種特性退化と病害発生の原因となるため種子更新を徹底する

品種	播種時期	親穂本数(kg/10a)※1	播種量(kg/10a)※2	条間	株間
エンレイ	5月6半旬~6月上旬	19,000~21,000	7.0~7.5 (5.6~6.2)	30cm	13cm
シュウレイ			8.0~9.0 (6.0~6.5)		
エンレイ	6月中旬	21,000~23,000	7.5~8.5 (6.2~6.8)		
シュウレイ			9.0~9.8 (6.5~7.0)		
オオツル	6月上旬~中旬	19,000~21,000	8.5~9.5 (6.2~7.0)		

※1) 大粒(中粒)の百粒重: エンレイ 30.9(25.1)g、シュウレイ 36.3(26.4)g
オオツル 38.2(27.8)g として計算
※2) 播立率85%として計算

種子処理剤名	処理方法	対象病害虫
クルーザー-MAXX	種子5kgに40ml塗抹(1kg当り原液8ml)	紫斑病、茎疫病、リフクニア根腐病、タネバエ、ハト、ネキリムシ類、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ
クルーザー-FS30	種子5kgにクルーザー-を30mlまぜて塗抹する1分間ほど広げて乾かす	タネバエ、ネキリムシ類、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ
キヒゲンR270P	クルーザーが乾いたら、種子5kgにキヒゲンを100mlをまぜて塗抹する広げて乾かす(1kg当り原液20ml)	紫斑病、タネバエ、ハト

④播種
・必ずほ場が乾いた状態で播種をする
・播種の前に繰出し量の確認を行う

基肥	肥料名	土壌区	施用量/10a
	BB特15号 15-15-15	砂壌土	2.5~3.0kg
	植壌土	1.5~2.0kg	
	麦跡は	10~15kg増	

除草	除草剤名	散布量/10a
	ラクサー乳剤	500ml+水100%

⑤中間除草
・大豆バサグラン液剤は、播種25日後頃に散布する(大豆2葉期~開花前)



⑥畦間かん水
・開花後10~40日の間、3日以上晴天が続いてほ場が乾いたらかん水
・ほ場全体に水が行きわたったら速やかに排水する

⑦病害虫防除(10aあたり)

薬剤区	回	防除剤名	必要量
液剤体系 150%散布 /10a	1回目	プレバソフロアブル5	37ml
	2回目	ペルコートフロアブル スタークル液剤10	150ml 150ml
	3回目	アミスターレボソSE	150ml
粉剤体系	1回目	サイアノックス粉剤	4kg
	2回目	スミチオンペルコート粉剤DL	3kg
	3回目	Zボルトドレボソ粉剤DL	4kg
茎疫病 随時防除		フェスティバルC水和剤	250g
	ハダニ類	マラソン乳剤	75ml
	アブラムシ類	マラソン粉剤3	3kg
	ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル5	37ml
		ロムダン粉剤DL	4kg
	ハダニ類	ダニトロンフロアブル	150ml

⑧適期刈取・乾燥調整

- ・ほ場内の雑草や青立株は早めに抜き取っておく
- ・子実水分が2.2%以下になったら刈取開始
- ・午前10時~午後4時の子実が乾いた時間帯に刈取
- ・刈取高は10cm以上
- ・乾燥は外気温+5℃以内、乾減率0.3%/時以下
- ・品質に差がある場合は区分して混ぜない